

決算説明会

2010年3月期第1四半期

2009年8月7日
ミネベア株式会社



1Q連結業績ハイライト

- ・市場での在庫調整が終了し、前4Q比で販売が増加、赤字縮小

(百万円)	2009年3月期		2010年3月期	前年同期比	前四半期比
	1Q	4Q	1Q	伸び率	伸び率
売上高	74,041	46,384	51,837	-30.0%	+11.8%
営業利益	5,083	△2,824	△605	N.A.	N.A.
経常利益	4,685	△3,430	△1,101	N.A.	N.A.
税引前利益	4,057	△6,187	△1,370	N.A.	N.A.
四半期純利益	2,635	△6,211	△1,680	N.A.	N.A.
一株当たり 四半期純利益(円)	6.60	△15.61	△4.32	N.A.	N.A.

為替レート	09/3期1Q	09/3期4Q	10/3期1Q
US\$	103.36円	92.80円	97.50円
ユーロ	161.48円	122.57円	131.56円
タイバーツ	3.24円	2.63円	2.78円
人民元	14.72円	13.54円	14.28円

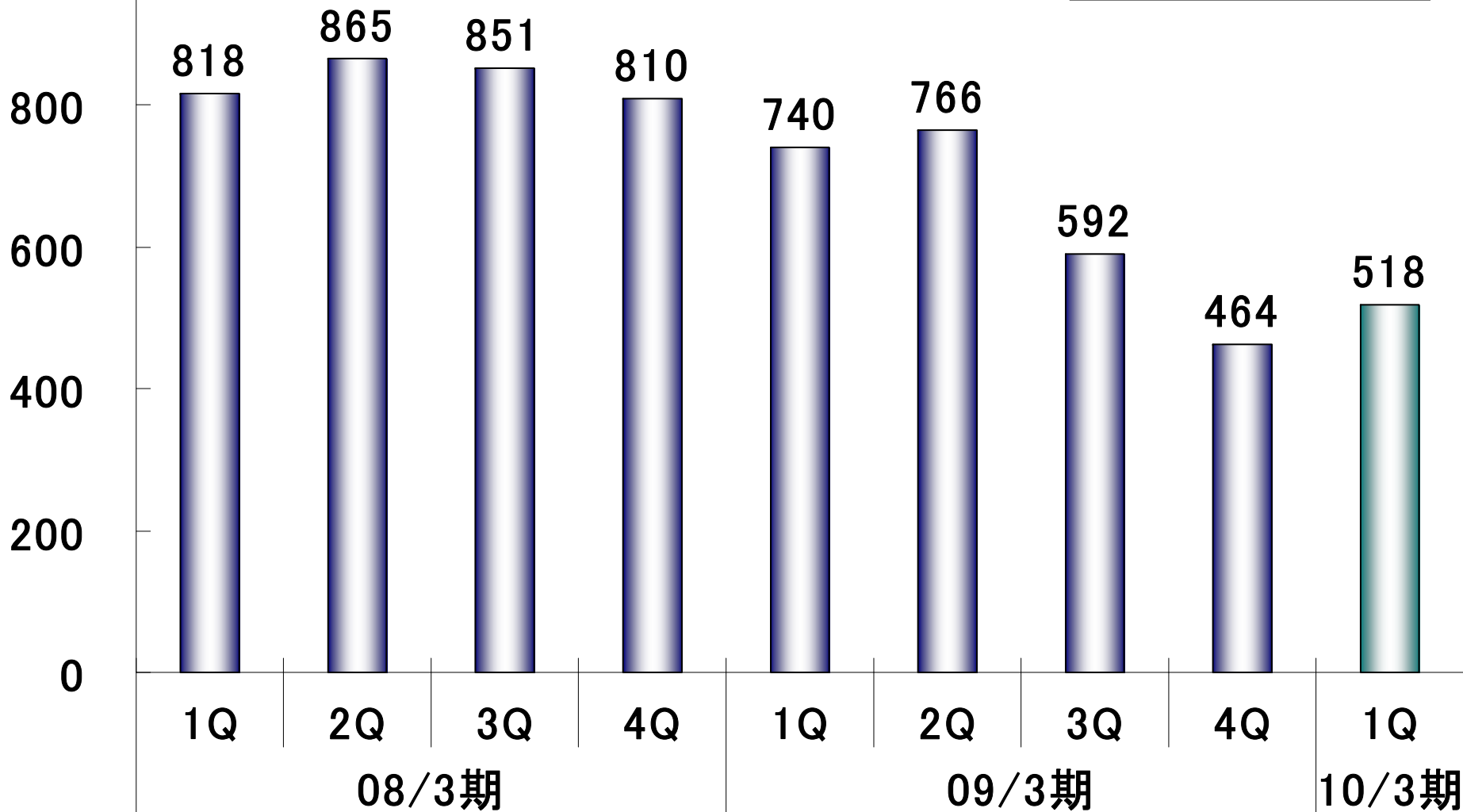
四半期推移

売上高

(億円)

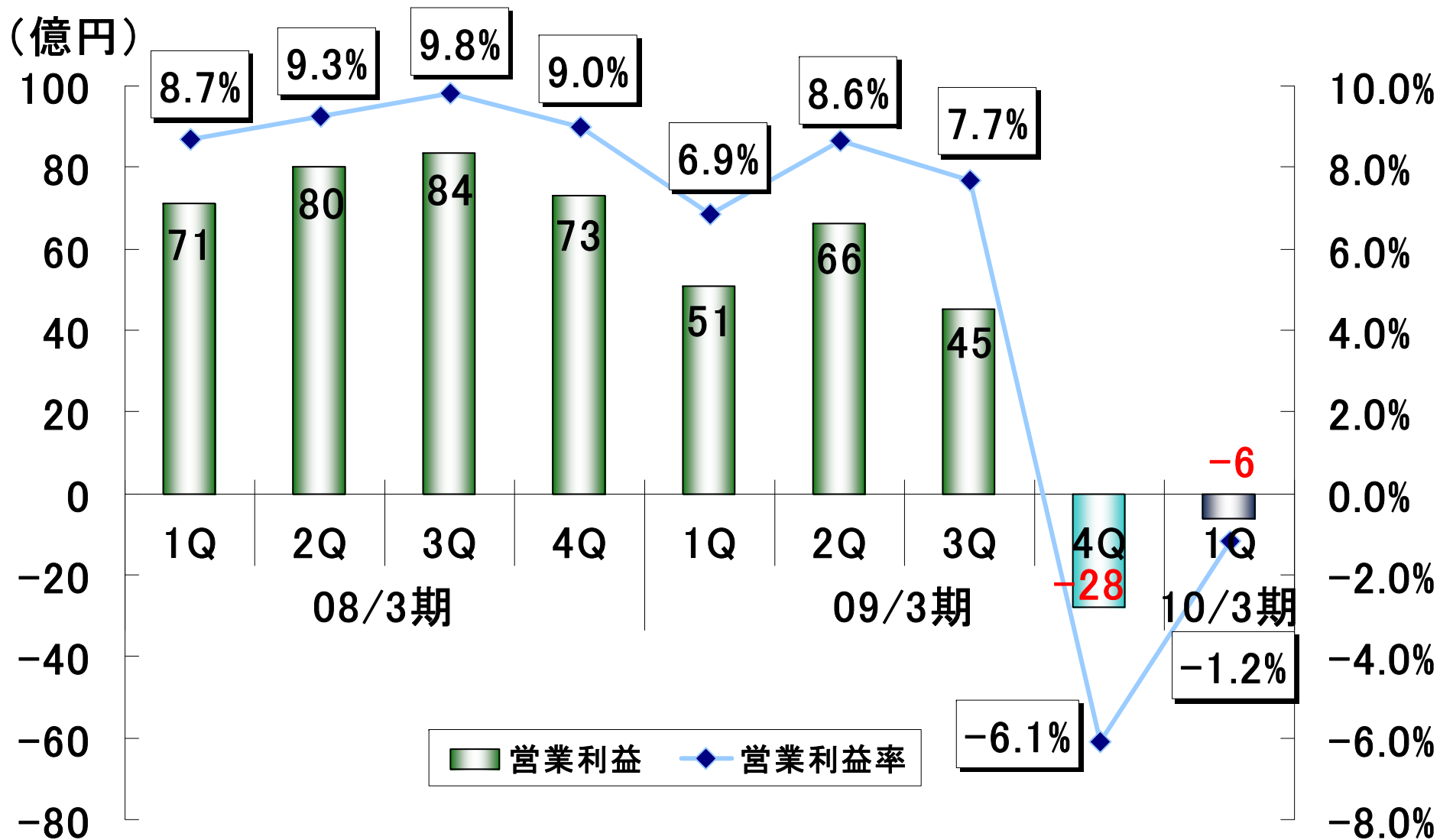
1,000

前年同期比 -30.0%
前四半期比 +11.8%



四半期推移

営業利益



セグメント別業績比較

	(百万円)	09年3月期	10年3月期	前年同期比	売上高減少 vs 営業利益減少
		1Q	1Q	減少額	
機械加工品	売上高	33,253	24,314	△ 8,939	49.0%
	営業利益	5,583	1,200	△ 4,383	
電子機器	売上高	40,787	27,523	△ 13,264	9.8%
	営業利益	△ 500	△ 1,806	△ 1,306	

※機械加工品セグメント

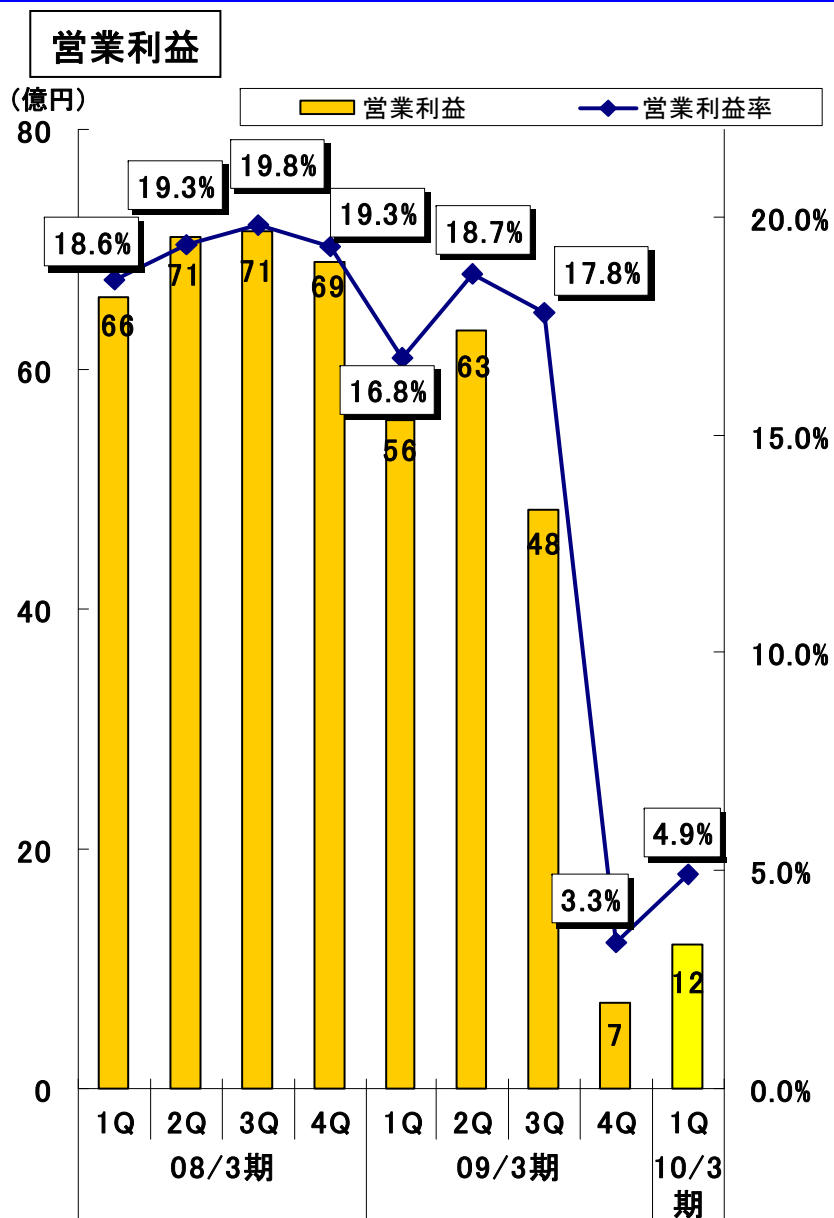
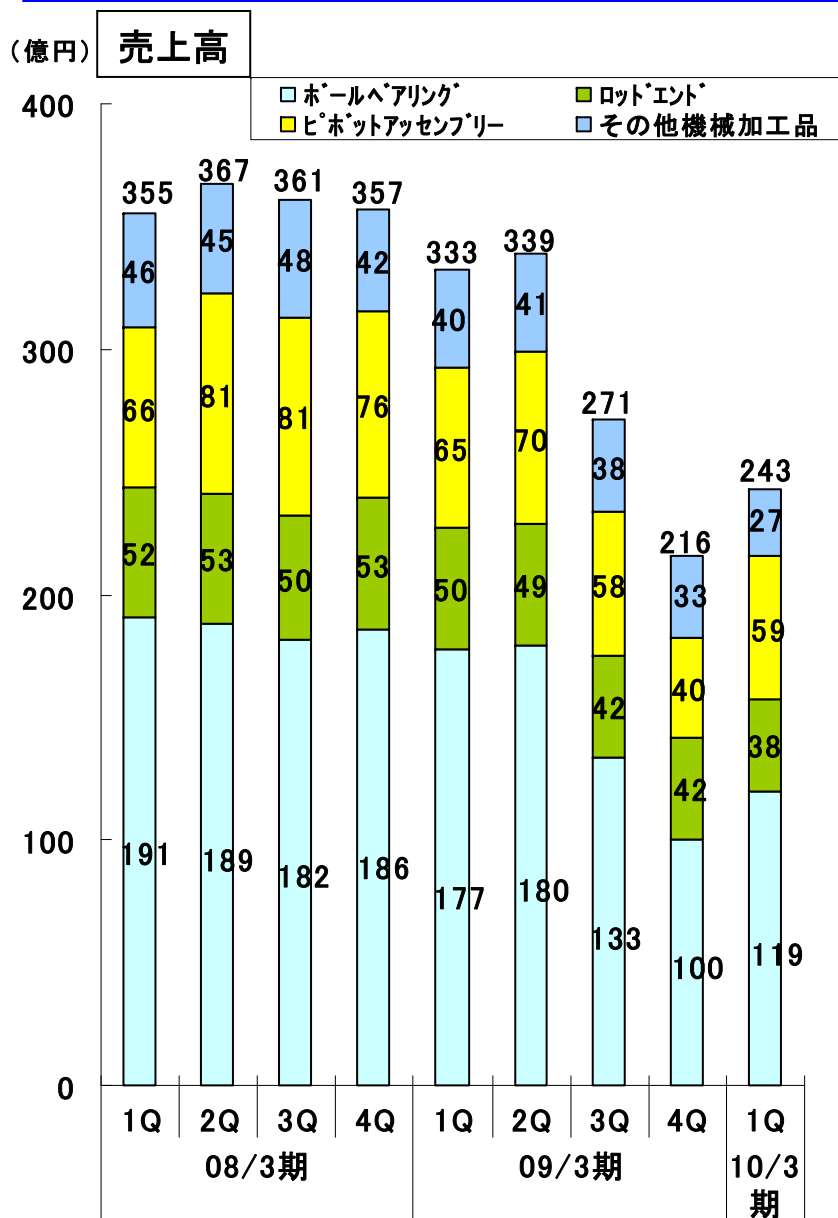
前年同期比営業利益減少要因

- ・装置産業固有の減少要因
- ・売上高減少が営業利益減少に大きく影響した

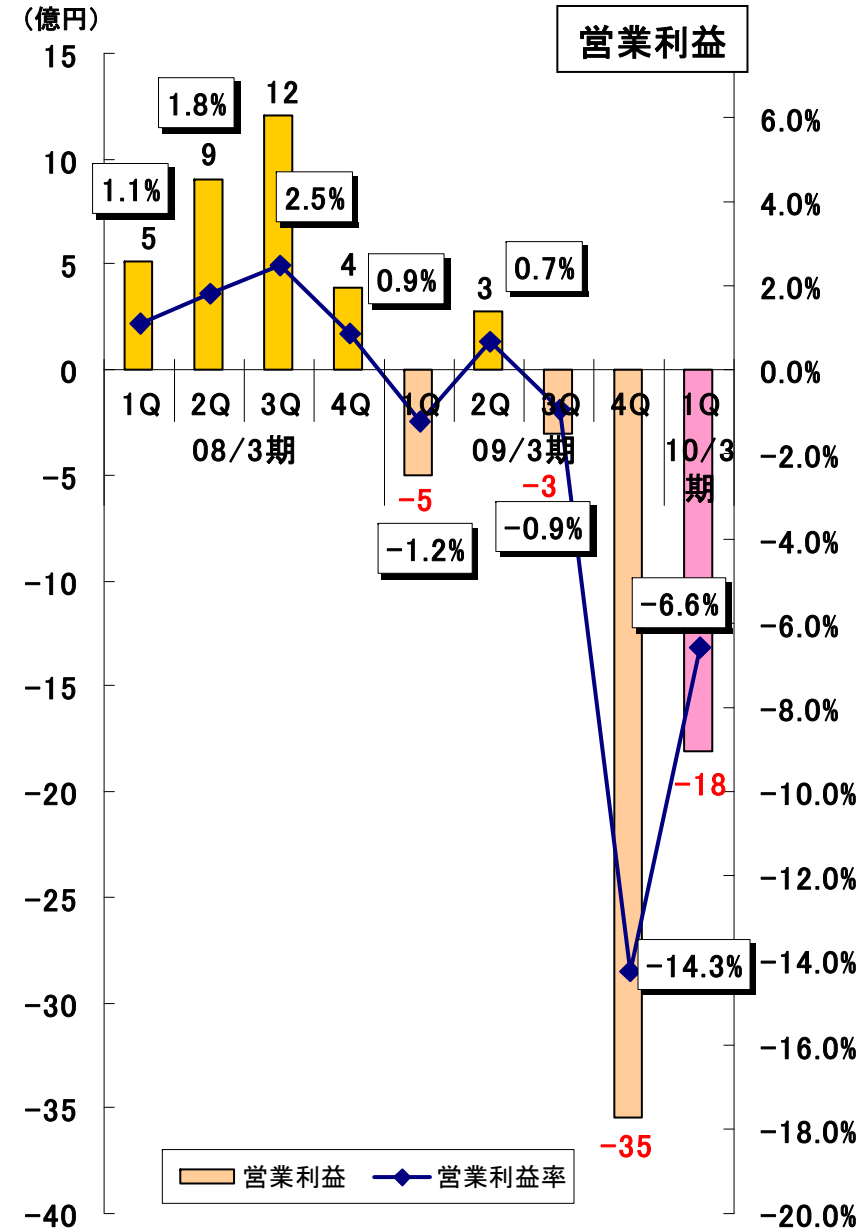
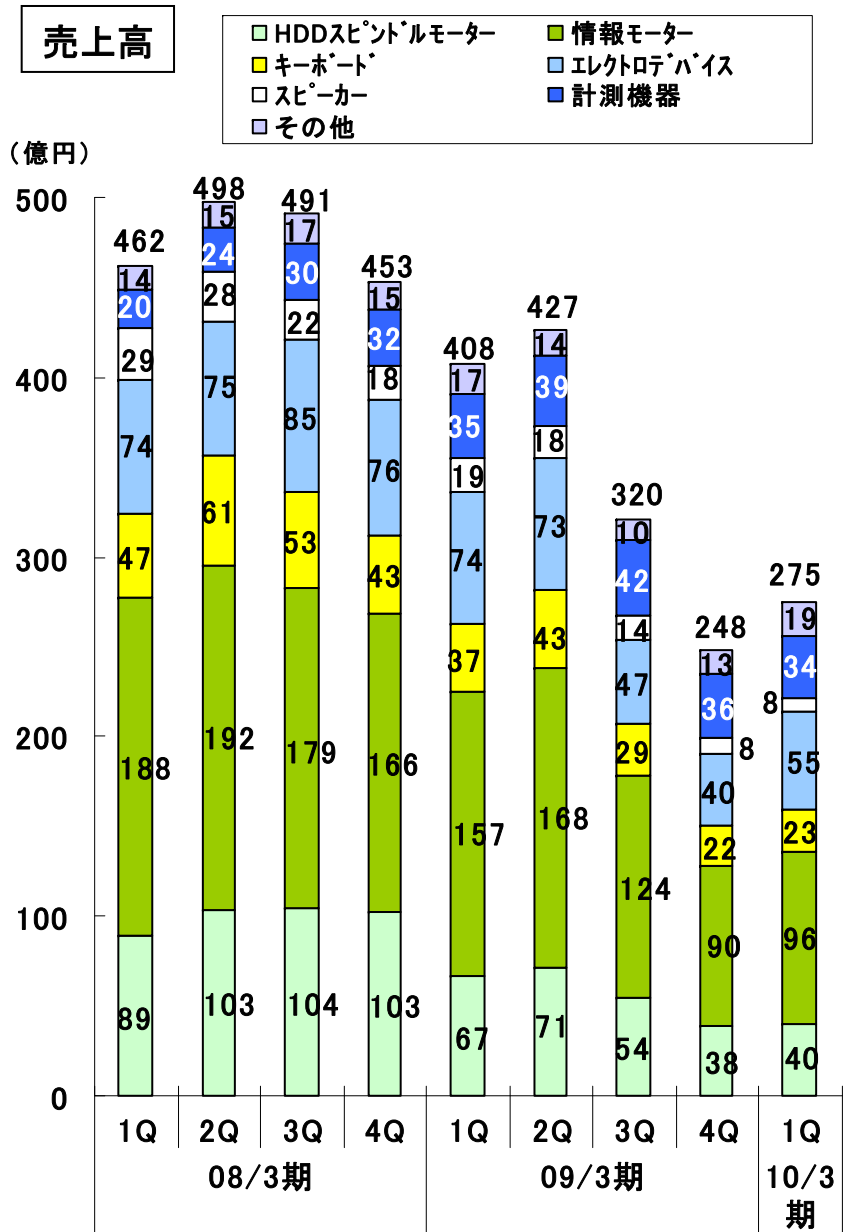
今後の見通し

- ・市場の回復と共に、売上高増加
➡ 急速な営業利益回復を期待

セグメント別四半期推移 機械加工品事業



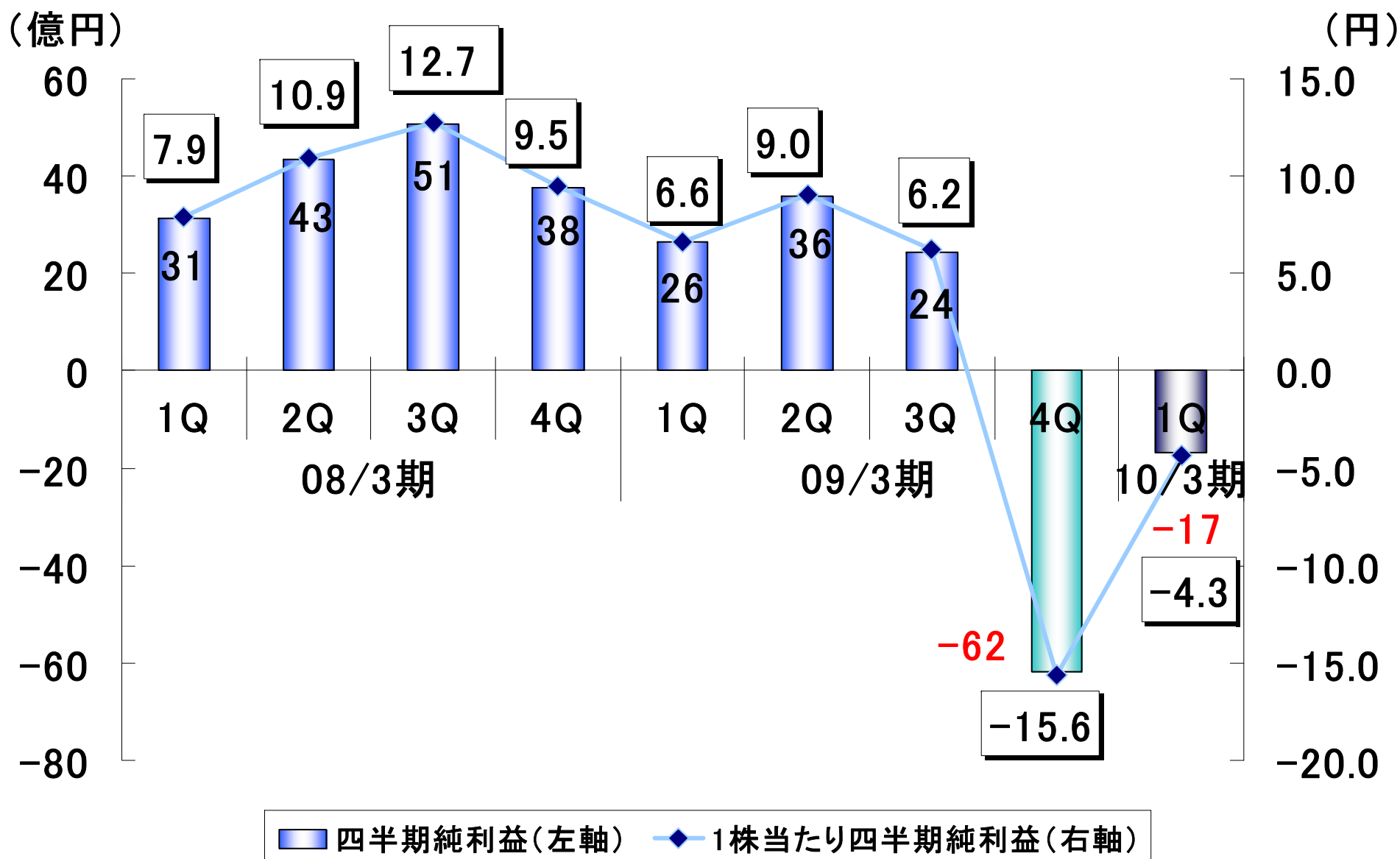
セグメント別四半期推移 電子機器事業



2009年8月7日

四半期推移

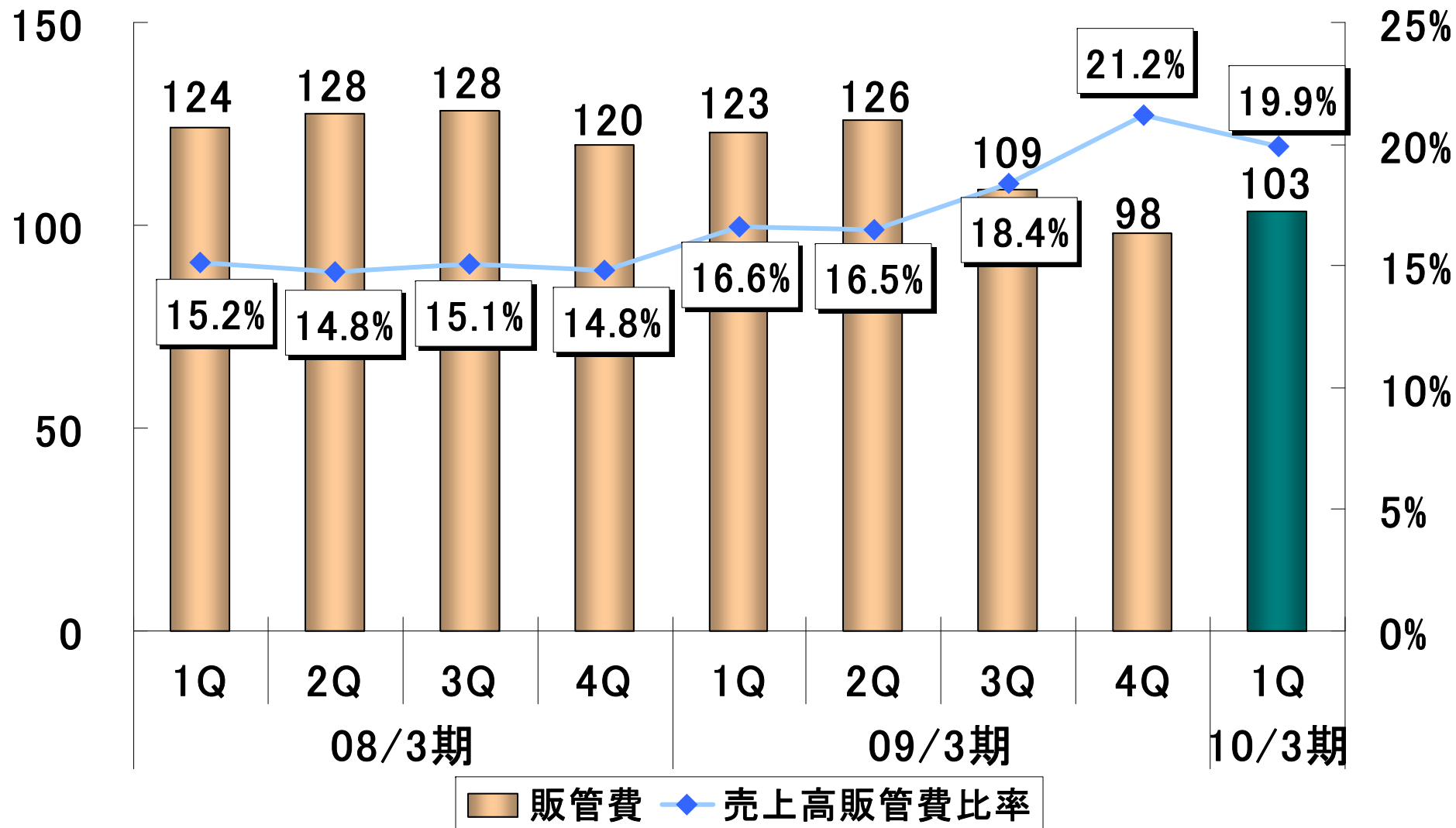
四半期純利益



四半期推移

販管費

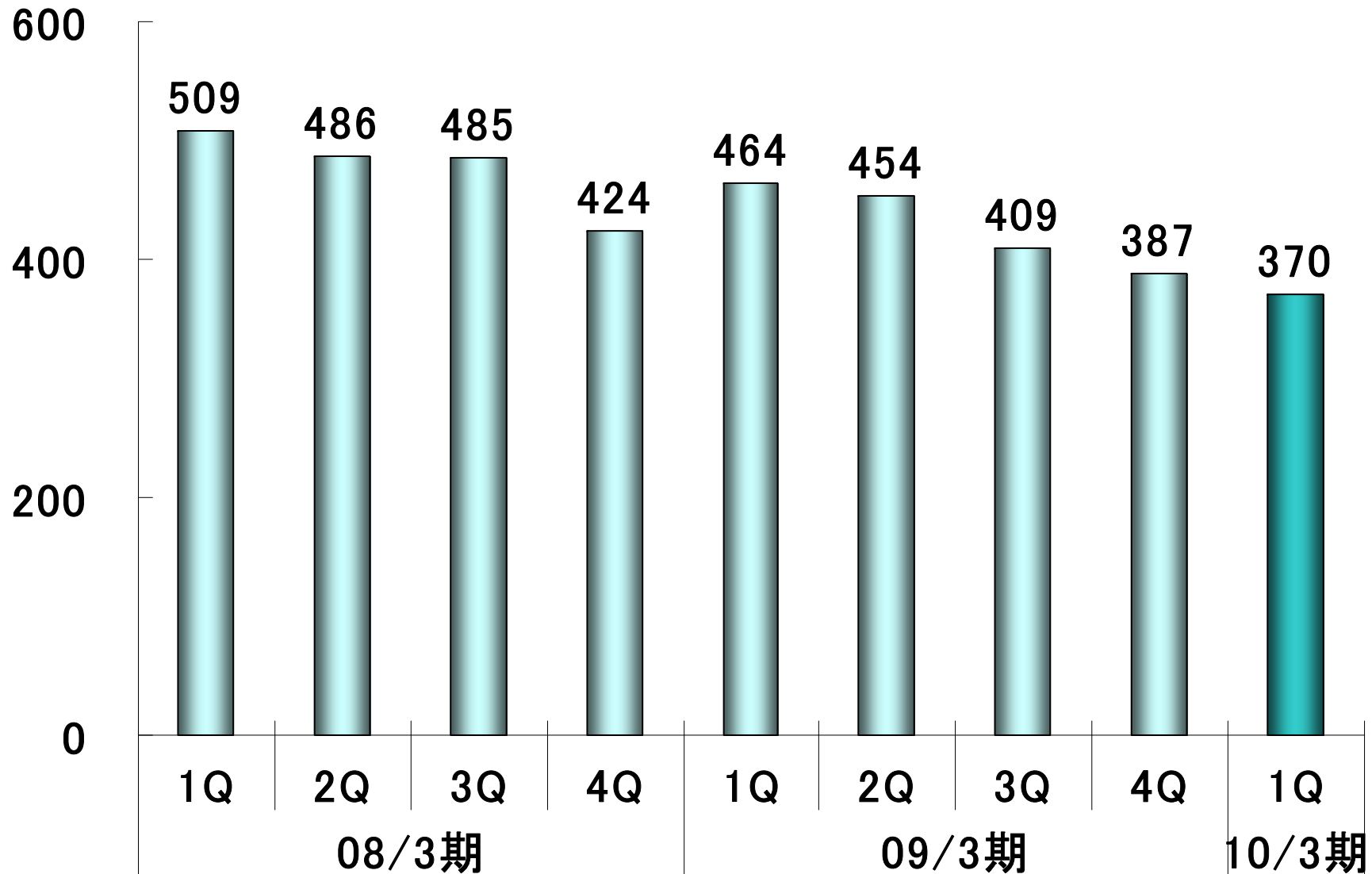
(億円)



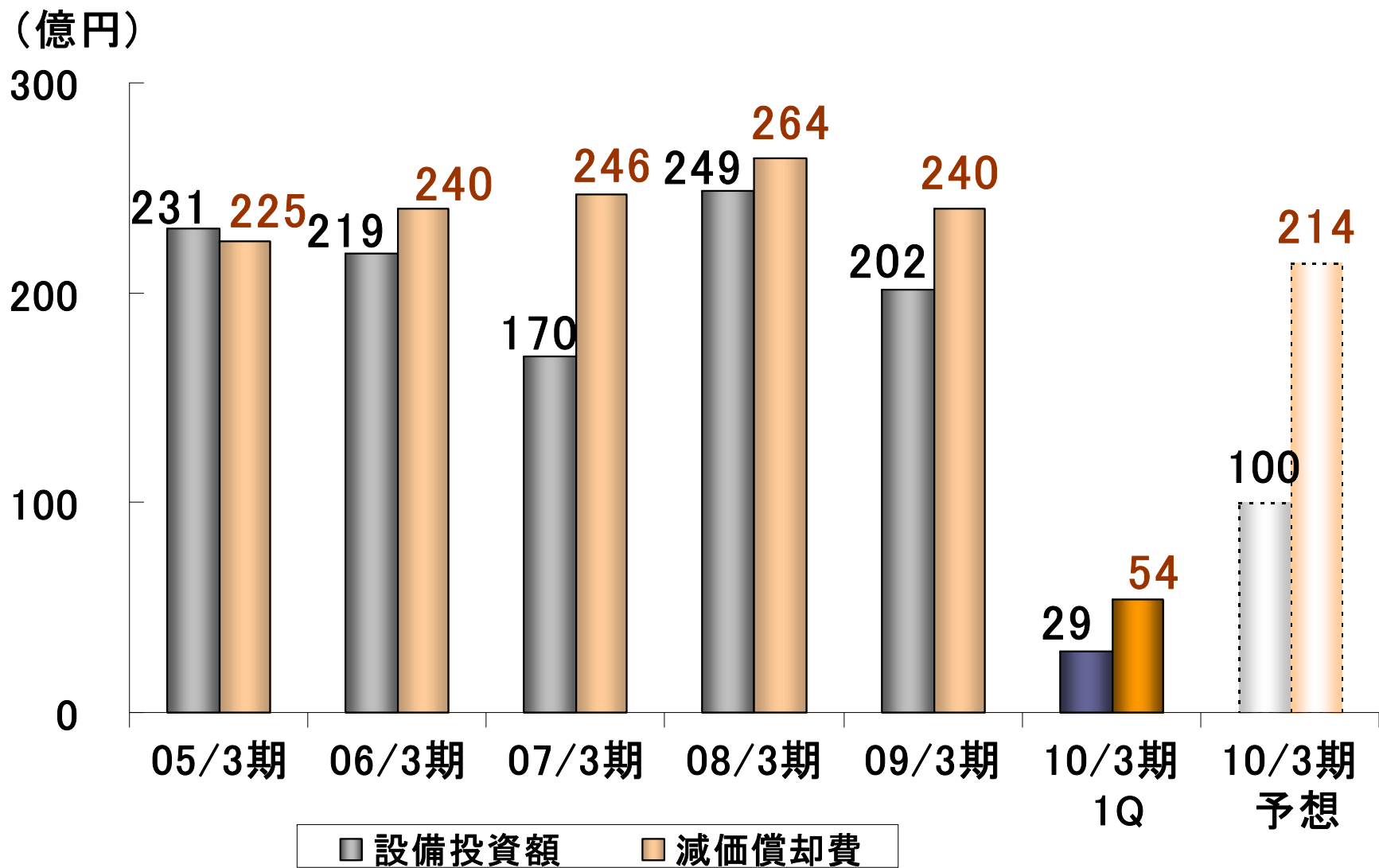
四半期推移

たな卸資産

(億円)



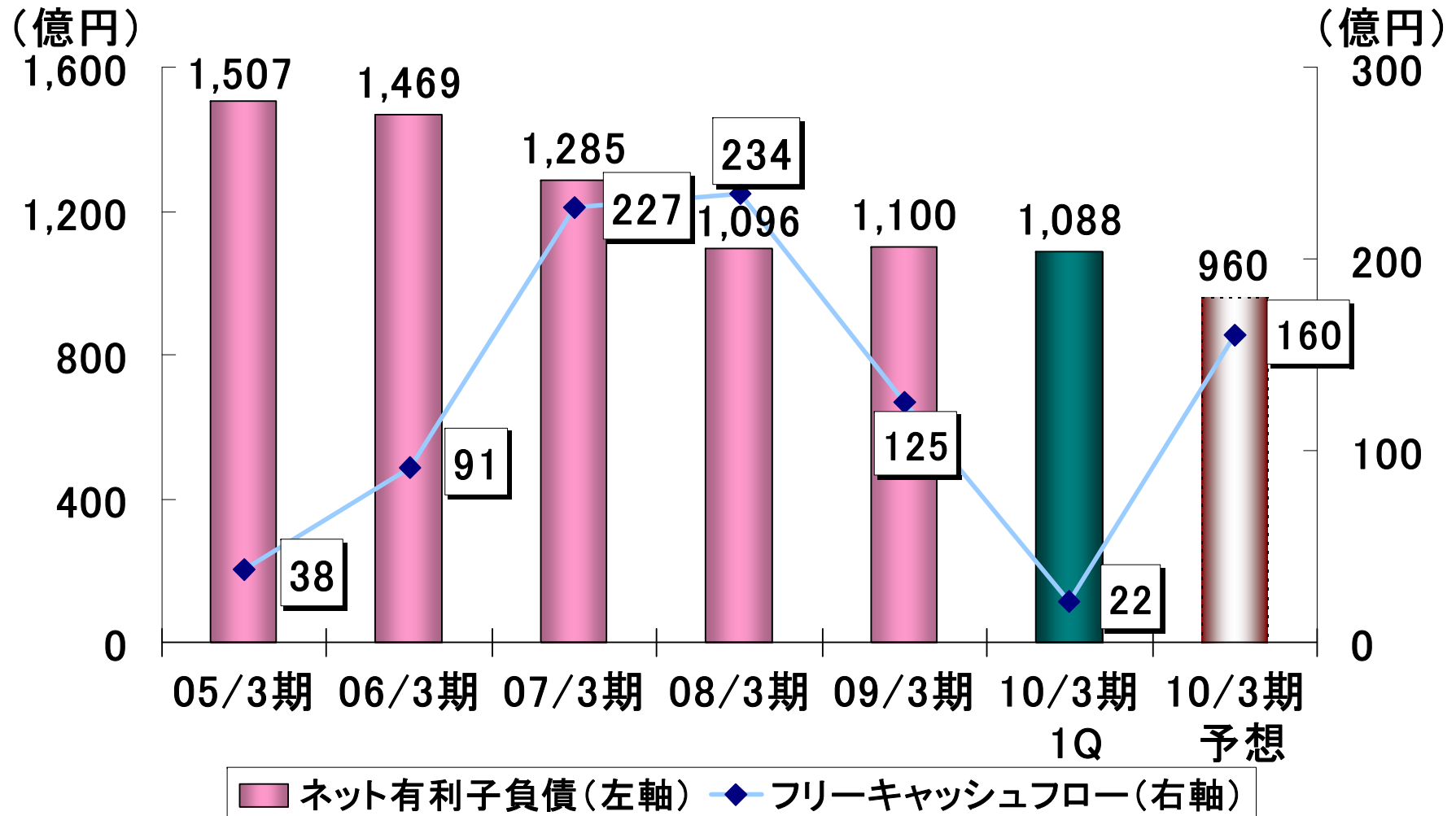
年推移 設備投資額・減価償却費



※09/3期よりリース会計処理変更に伴い、ファイナンス・リース資産を計上しています。

年推移

ネット有利子負債



ネット有利子負債 : 有利子負債合計 - 現預金
 フリーキャッシュフロー : 営業活動CF + 投資活動CF

業績予想

期初業績予想からの変更はありません

(百万円)	2009年3月期 通期	2010年3月期予想					
		上半期		下半期		通期	
		上限	下限	上限	下限	上限	下限
売上高	256,163	105,500	96,000	124,500	104,000	230,000	200,000
営業利益	13,406	3,500	1,800	10,500	8,200	14,000	10,000
経常利益	11,555	2,200	600	9,100	7,000	11,300	7,600
税引前利益	6,834	2,200	600	8,900	6,800	11,100	7,400
純利益	2,441	800	△700	5,700	4,200	6,500	3,500
一株当たり 純利益(円)	6.18	2.06	△1.80	14.65	10.80	16.71	9.00

為替レート	09/3期	10/3期想定
US\$	100.83円	91.00円
ユーロ	145.65円	128.00円
タイバーツ	2.98円	2.60円
人民元	14.64円	13.00円

ミネベア株式会社

決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。